ため休憩タイムです。

ラスト1時間に状況好転 期待するも小型に終わる

昼食を取って午後の部開始。潮の流れは相変わらず速く、しかも北西風が吹きはじめました。風波でカセが大きく揺られます。とてもアタリが分かる状況ではないので、たまらず志摩半島方向へ釣り座を移動しました。

やはり打ち返しを始めたものの釣りづらく、アタリを取ることができないまま時間だけが過ぎていきます。しかし、納竿1時間前の午後5時になって状況が変わりました。潮の流れが緩くなり、アタリが戻ってきたのです。幾分か風も弱まり、チャンス到来です。

ダンゴから小ボケが抜けたのを確認して潮下に流していくと、引ったくるようなアタリ！ 反射的にアワセを入れてやり取りに入りましたが、クロダイの首振り幅が狭く、いかにも小型です。上がってきたのは、やはり小型でした。

夕まずめのゴールデンタイムに突入かと思われましたが、アタリは散発的に出る程度。納竿15分前にダンゴアタリを確認し、ダンゴからオキアミを抜いて誘い上げると、小さな前アタリの後、スッと穂先が押さえ込まれました。今度こそ大型と願いましたが、ハリに掛かったのは29㎝の小型でした…。結局、このクロダイを最後に気配がなくなり、午後6時に納竿としました。

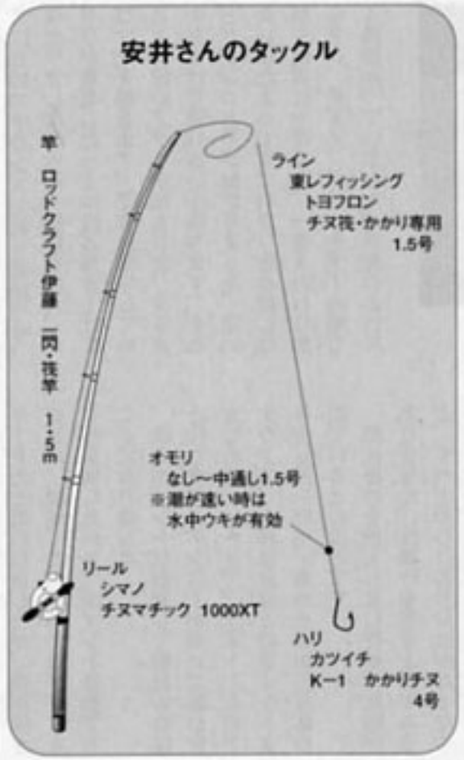
今回も課題の残る釣行になりましたが、前回のリベンジだけは果たせました。なお、当日は岩井平瀬の2号筏に乗られた方が53㎝の年無しを仕留めていました。前々日にも58㎝の超大物が上がっており、5月から6月にかけて岩井平瀬のカセは目が離せません。

▼**アクセス** 伊勢自動車道・伊勢西IC

▼**問い合わせ** 大伸丸渡船

☎0599・88・3914

当日は年無しは手にできませんでしたが、小型を含めて5匹のクロダイをキャッチ。



敦賀沖の五目&スルメイカ

●福井県敦賀市・色浜出船

WINDIE（若狭GT倶楽部スタッフ）

日本海に沖釣りシーズン本番がやってきました。この時期の何な釣りものといえばやはりスルメイカ。というわけで、5月8日に私の所属する若狭GT倶楽部のメンバー7名で、福井県敦賀市色浜の泰丸さんを仕立ててスルメイカを狙ってきました。

釣行前にスルメイカの釣況をインターネットで調べると、昨シーズンの同時期よりもよくありません。ただ、例年は胴長20㎝前後のムギイカ（小型のスルメイカ）が中心ですが、今期は大きめの胴長25～35㎝が上がっています。あとは気まぐれなイカの気分次第です。

五目はアジ&チダイ主役 場所移動でウマヅラ追加

当日の天気は晴れ。波高も0・5mと絶好の釣り日和です。出港予定は午後3時なので午後2時に現地で集合。荷物を船に積み込み、予定より30分早い午後2時30分に出船しました。目指すは越前岬の沖です。潮風を全身に浴びながら40分ほどの航海を満喫。まだスルメイカが釣れる時間には早いので、まずは五目釣りを楽しみます。

ポイントに到着して準備を済ませると、「水深93m。底からタナを合わせて」とのアナウンスで釣り開始です。ワクワクしながら第一投目を投入。オモリが着底したら5mほど巻き上げてコマセを撒きます。竿先に集中していると待望のアタリが出ました。少しタナを上げて追い食いを待ちます。すると～んっと竿が曲がりました。追い食いしたようです。パラシを心配しながら慎重に上げると、一番下のハリからアジ、チダイ、アジ、チダイの順で4匹掛かっていました。幸先のよいスタートだと思われましたが、後が続きません。結局、この場所ではチダイを2匹追加したのみ。ポイント移動することになりました。

次のポイントに到着して船長の合図を待ちます。アンカーが効いて船が安定した頃、「よしやってよ～」とのアナウンス。水深は先ほどのポイントより少し浅い85m。底から30mに反応が出ているとのことです。

即仕掛けを投入しましたが、反応がありません。仕掛けを巻き上げてみると、すべてのハリのサシエがなくなっています。エサ取りが活発でしばらく苦戦しました。そんな中、突然気持ちよい竿曲がり。顔を出したのは、お刺し身にしたら美味しそうな35㎝級のウマヅラハギ。どうやらコイツたちがエサを取っていたようです。その後、20～25㎝のウマヅラを5匹ほど追加すると、アタリがなくなりました。

五目釣りでの釣果。良型のウマヅラハギも顔を出しました。

スルメイカの時間に早かったのでまずは五目釣り。幸先よくアジとチダイの4点掛けです。

開始早々から時合に突入 2時間ほどで20パイ以上

辺りが暗くなりはじめた午後6時頃、いよいよスルメイカのポイントに向かいます。移動中に五目釣り仕掛けからスルメイカ用の水中ライトを装着した浮きスッテ3号の4本仕掛けに交換します。準備を済ませたところでポイントに到着。水深は90mです。

船長の合図で仕掛けを投入。タナを探すためにサミングしながら仕掛けを下ろしていきます。すると50mほどのところで竿先に反応。ゆっくりと追い乗りを促しながら巻き上げます。なんと一投目からトリプル。情報通り、上がってきたのはムギイカよりも身がふっくらした胴長25～35㎝でした。ちょうど時合のようでメンバー全員にアタリがあったようです。

タナは次第に浅くなり、15～30mでよく乗ります。釣りはじめから2時間ほどで20パイ以上キャッチ。しかし、午後9時頃にアタリがピタリと止まりました。その後は拾い釣り。午後9時30分までに6パイ追加して納竿となりました。終わってみれば船中175パイ。竿頭は38パイでした。まずまずの釣果で、お土産も確保できたので大満足です。

スルメイカは開始早々から時合でした。2時間ほどで20パイ以上をキャッチ。

例年ならムギイカが中心ですが、今年はサイズが大きいようです。

敦賀沖のスルメイカは、これから盛夏にかけてがシーズン。初心者や女性でも楽しめます。若狭の海でイカ釣りの魅力を味わってはいかがでしょうか。

なお、ご質問があれば私のホームページをお気軽に訪れてください。

▼**アクセス** 北陸自動車道・敦賀ICを出て市街地方面へ向かい、国道476号線で県道33号・佐田竹波敦賀線を西進。気比の松原の脇を抜けて敦賀半島東岸を北上して色浜へ。

▼**問い合わせ** 泰丸

☎0770・26・1722

▼**WINDIE ホームページアドレス**

http://www.5a.biglobe.ne.jp/~windie/